

収蔵品展

— 遠藤三郎が遺した品々^{のこ} —

平成7年 9月19日(火)~11月12日(日)



遠藤日記

 狭山市立博物館

〒350-13 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 稲荷山公園(ハイドパーク)内
TEL 0429-55-3804 FAX 0429-55-3811

交通 / 西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分

交通 / 西武新宿線「狭山市駅西口」からバス(稲荷山公園駅行)終点下車徒歩3分

開 催 に あ た っ て

第二次世界大戦の終結から50年を迎えた本年は、各地において戦争と平和に関係した展示会が数多く行われ、戦争の悲惨さを語り継ぐのと同時に平和への願いや尊さを訴えかけています。

狭山市においては、市制施行35周年を期して、1989（平成元）年に平和都市宣言を行い、以後市立図書館で「平和展」を開催するなどしてきました。

今回の展示会では、当館の所蔵する資料の中でも、「戦争と平和」への関わりの深い、故遠藤三郎氏（陸軍航空士官学校の幹事、校長を歴任し、戦後入間川町に入植）から寄贈された資料の中から展示しました。

遠藤は、1893（明治26）年に山形県で生まれ、1907（明治40）年に仙台陸軍幼年学校に入学してから1945（昭和20）年の敗戦時まで40年間近く軍人としてあゆみ、戦後は平和、国際親善を訴え続け、特に中国との友好関係に力を注ぎました。

この展示会をとおして、戦争という事実を見つめることにより、平和の尊さについてもう一度考えていただければ幸いです。



軍服（勲章・記章）

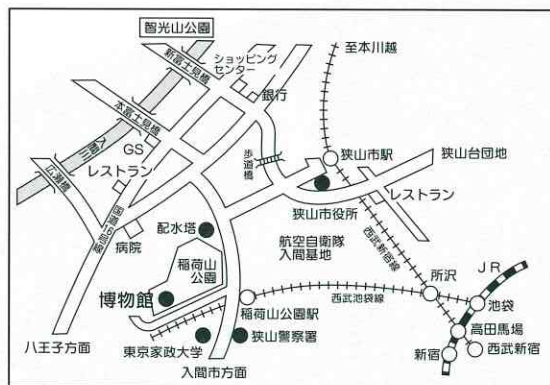


花瓶（朱漆）



日記（第一号）
1904（明治37）年8月1日～

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 9/22・25、10/2・9・11・16・23・27・30、11/6
- 入館料 一般150円（100円）高校生・大学生100円（60円）
小学生・中学生50円（30円）
（ ）内は20名以上の団体



- 西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分
- 西武新宿線「狭山市駅」西口からバス（稲荷山公園駅）終点下車徒歩3分

収蔵品展

— のこ 遠藤三郎が遺した品々 —

平成7年 9月19日(火)~11月12日(日)



遠藤日記

 狭山市立博物館

〒350-13 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 稲荷山公園(ハイドパーク)内

TEL 0429-55-3804 FAX 0429-55-3811

□交通/西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分

□交通/西武新宿線「狭山市駅西口」からバス(稲荷山公園駅行)終点下車徒歩3分

開 催 に あ た っ て

第二次世界大戦の終結から50年を迎えた本年は、各地において戦争と平和に関係した展示会が数多く行われ、戦争の悲惨さを語り継ぐのと同時に平和への願いや尊さを訴えかけています。

狭山市においては、市制施行35周年を期して、1989（平成元）年に平和都市宣言を行い、以後市立図書館で「平和展」を開催するなどしてきました。

今回の展示会では、当館の所蔵する資料の中でも、「戦争と平和」への関わりの深い、故遠藤三郎氏（陸軍航空士官学校の幹事、校長を歴任し、戦後入間川町に入植）から寄贈された資料の中から展示しました。

遠藤は、1893（明治26）年に山形県で生まれ、1907（明治40）年に仙台陸軍幼年学校に入学してから1945（昭和20）年の敗戦時まで40年間近く軍人としてあゆみ、戦後は平和、国際親善を訴え続け、特に中国との友好関係に力を注ぎました。

この展示会をとおして、戦争という事実を見つめることにより、平和の尊さについてもう一度考えていただければ幸いです。

遠藤 三郎 1893～1984（明治26年～昭和59年）

1893（明治26）年1月2日、山形県東置賜郡小松町（現・川西町）^{おきたま}に生まれる。

1907（明治40）年3月に小松尋常高等小学校を卒業し、同年9月に仙台陸軍幼年学校に入学。その後中央幼年学校を経て、1912（明治45）年5月には士官候補生となる。

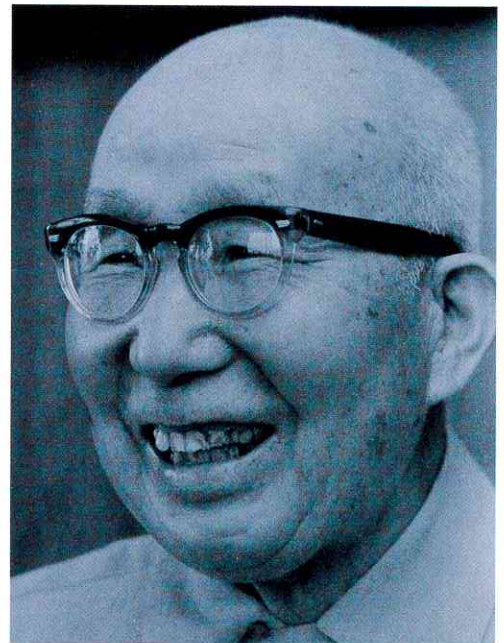
1914（大正3）年5月に陸軍士官学校を卒業し、陸軍砲工学校、陸軍重砲兵射撃学校を経て1919（大正8）年12月には陸軍大学校へ進む。1923（大正12）年には野戦砲兵第一連隊中隊長になり、その後参謀本部作戦課などを経て、1926（大正15）年には仏国駐在員として渡仏。帰国後の1931（昭和6）年9月には柳条湖事件（満州事変の勃発）により関東軍へ派遣。翌年には上海事変で現地指導に派遣され、関東軍参謀として主に作戦の計画にあたった。その後陸軍航空士官学校校長、陸軍航空本部・航空総監部の総務部長を経て

1943（昭和18）年11月からは軍需省航空兵器総局長官となり1945（昭和20）年8月15日に敗戦を迎える。一時戦犯容疑者として巣鴨拘置所に入所するが、1948（昭和23）年に釈放されてからは、入間川町（現・狭山市）に入植し、農作業に従事する傍ら平和・国際親善を訴え続けた。

特に中国との友好関係には力を注ぎ、1955（昭和30）年11月に元軍人として初めて中国を訪れ、1956（昭和31）年と1957（昭和32）年には元軍人団を組織して訪中。

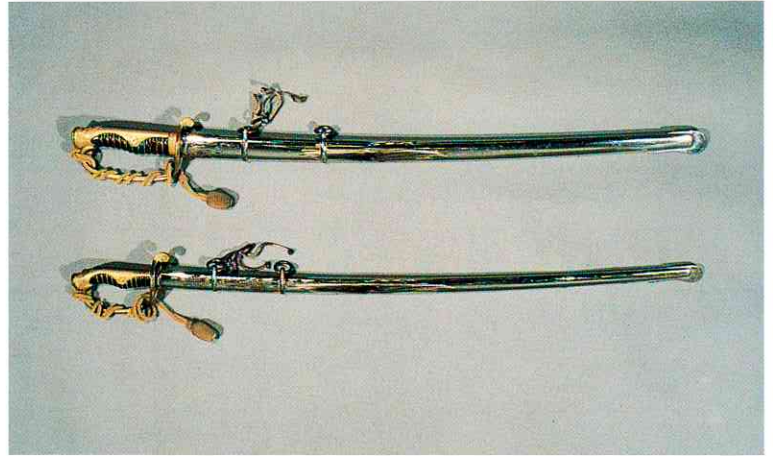
1961（昭和36）年には日中友好元軍人の会を結成するなどし、1972（昭和47）年9月の日中国交正常化への道を開いた。

1984（昭和59）年10月、91歳で亡くなる。





軍服(勲章・記章)



恩賜の軍刀 1922(大正11)年11月29日 陸軍大学校卒業時
恩賜の指揮刀 1917(大正6)年11月30日 陸軍砲工学校高等科卒業時



掛軸(斎白石画)
1956(昭和31)年
中国訪問の際贈られたもの



花瓶(朱漆)
1956(昭和31)年
中国訪中の際贈られたもの



日記(第一号)
1904(明治37)年8月1日～

主要展示品

品名	備考
恩賜の銀時計	1910(明治43)年7月仙台陸軍幼年学校卒業時
恩賜の銀時計	1914(大正3)年5月陸軍士官学校卒業時
恩賜の指揮刀	1917(大正6)年11月30日陸軍砲工学校高等科卒業時
恩賜の軍刀	1922(大正11)年11月29日陸軍大学校卒業時
卒業証書	1914(大正3)年5月28日陸軍士官学校
卒業証書	1916(大正5)年11月30日陸軍砲工学校普通科
卒業証書	1922(大正11)年11月29日陸軍大学校
双眼鏡	
軍服(勲章・記章)	陸軍中将
「神風 第一集」	1945(昭和20)年3月
神風を贈るにあたりて	1944(昭和19)年12月8日
辞令	1942(昭和17)年12月1日 陸軍中将
掛軸	汪兆銘書
寄せ書き	1943(昭和18)年陸軍航空士官学校職員
鉢(朱漆)	1956(昭和31)年中国訪問の際贈られたもの
花瓶(朱漆)	1956(昭和31)年中国訪問の際贈られたもの
象牙細工	1957(昭和32)年中国訪問の際贈られたもの
礼状	1956(昭和31)年9月5日中国訪問の際毛沢東より
掛軸	斎白石画
掛軸	徐悲鴻画 1960(昭和35)年12月陳毅から贈られたもの
パスポート	1955~57(昭和30~32)年、1960(昭和35)年、1972(昭和47)年
「元軍人団の中国訪問記」	1956(昭和31)年
「第二次訪中元軍人団報告」	1957(昭和32)年
日記	1945(昭和20)年8月15日
日記(第一号)	1904(明治37)年8月1日~

※期間中、一部展示替えをおこないます。

主要参考図書

遠藤三郎著	「日中十五年戦争と私」	日中書林	1975(昭和50)年
遠藤三郎著	「思い出乃人々」	中統教育図書	1984(昭和59)年
宮武 剛著	「将軍の遺言—遠藤三郎日記」	毎日新聞社	1986(昭和61)年